

西臼杵地域の普及活動（普及活動月報）

令和8年9月 西臼杵支庁
(西臼杵農業改良普及センター)

目次

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

- 1 【管内】9月期子牛セリ市開催
- 2 【県内】第13回全国和牛能力共進会宮崎県出品対策共進会
- 3 【高千穂町】鳥獣被害対策の地区内協議

II 主な普及指導活動等の取組み

「西臼杵地域プラン」に基づく普及活動

- 1 【管内】普通期水稻の成熟期調査を実施
- 2 【高千穂町・日之影町】ミニトマト現地研修会及び出荷目揃え会が開催
- 3 【高千穂町・五ヶ瀬町】高温対策に関する展示ほの調査を実施
- 4 【管内】ラナンキュラスの大苗育苗の実施
- 5 【五ヶ瀬町】ラナンキュラスほ場における細霧冷房の設置
- 6 【高千穂町・日之影町】きんかんの定期巡回を実施
- 7 【管内】くりの早生品種における加工適性調査と食味アンケートの実施
- 8 【管内】先進地視察研修（台湾）の実施

2 地域課題一覧に関する普及活動

- 1 【高千穂町・日之影町】新規就農および承継相談会を実施
- 2 【管内】農業経営体育成活動に関するヒアリング
- 3 【高千穂町】県北3地区合同農業経営指導士交流の開催

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 【管内】9月期子牛セリ市開催

18日、19日の2日間、高千穂地域家畜市場において9月期子牛セリ市が開催されました。

出場頭数は、2日間合計で453頭（雌213頭、去勢240頭）で、平均売却価格（税込）は雌が817,992円、去勢が892,998円となりました。

セリ開始前の生産者向け研修会では、普及センターからは、飼料作物の栽培をテーマに「WCS用稲の収穫・調製」や「イタリアンライグラスの栽培」に関する情報提供を行い、良質な自給飼料を確保するためのポイントを解説しました。また、西臼杵支庁農政水産課からは「秋の農作業安全確認運動」に合わせた呼びかけも行われ、農業機械や畜産分野における農作業事故の防止および飼料タンクの適正管理について注意を促しました。

研修終了後は、畜産相談ブースが設け、生産者からの質問や各種相談に対応しました。



【セリ会場での研修会】

2 【県内】第13回全国和牛能力共進会宮崎県出品対策共進会

25日、26日の2日間、都城地域家畜市場において、標記共進会が開催されました。西臼杵地域からは各区2～3頭ずつ計10頭の牛が出品されました。

月齢ごとに分けられた第1区から第4区までの各区で体型や改良の状況が審査され、西臼杵管内から出品された第3区および第4区で優等賞首席を獲得しました。

来年度、北海道で開催される全国和牛能力共進会に向け、関係者と連携し、引き続き支援してまいります。



【出品牛の審査】

3 【高千穂町】鳥獣被害対策の地区内協議

24日、今年度の鳥獣害被害対策の重点現地支援対象地区である高千穂町の高岩地区において、2回目の地区協議を行いました。

高岩地区では、令和9年度に補助事業を活用したワイヤーメッシュ柵の設置を計画しており、計画申請前の設置ルートをチェックや見直し等について協議しました。今後、ワイヤーメッシュ設置に向けた勉強会や集落点検を行うことで、効果的な鳥獣被害対策につながるよう、支援していきます。



【鳥獣被害対策の地区協議】

Ⅱ 主な普及指導活動等の取組み

「西臼杵地域プラン」に基づく普及活動

1 【管内】普通期水稻の成熟期調査を実施

15日、29日の2日間、営農振興協議会作物部会の関係者が参集し標記調査を行いました。

水稻の展示ほ場は、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町に2カ所（「ヒノヒカリ」と高温耐性品種「ひなた舞」）設置しており、合わせてドローン直播栽培実証ほ1カ所（高千穂町）の成熟期調査を実施しました。稈長、穂長、穂数を測定した結果、各町ともに、生育はおおむね順調です。

10月末には、10aあたりの収量や品質を判断するための調査を行い、生産者への情報提供や指導資料などに役立ててまいります。



【水稻の成熟期調査】

2 【高千穂町・日之影町】ミニトマト現地研修会及び出荷目揃え会が開催

11日、高千穂町及び日之影町のミニトマトほ場において標記研修会が開催され、生産者14名、関係者3名が参加しました。

J Aからは、現地研修会のほ場の概要や収穫の目安等の説明が行われ、出荷実績、高温対策資材、台木、農薬に関する情報共有が行われました。

普及センターからは、管内ほ場で取り組んでいる高温対策の実証試験（青天張）の中間実績を報告しました。参加者に資材の遮熱効果はおおむね実感してもらえたものの、費用対効果の面では導入に慎重な様子もうかがえました。

今後も関係機関と連携し、産地振興に向けた取組を進めてまいります。



【高温対策の中間実績を説明】

3 【高千穂町・五ヶ瀬町】高温対策に関する展示ほの調査を実施

11日、28日の2日間、高千穂町及び五ヶ瀬町の展示ほにおいて、露地・施設ピーマン及びミニトマトの高温対策に関する調査を実施しました。遮熱資材の活用による生育状況や温度変化について、対照区と比較しながら確認しました。

28日の調査には、普及センターのインターンシップに参加した農業大学校の学生も参加し、中山間地域における夏秋野菜の高温対策や普及活動について学びました。

今後も展示ほの調査を継続して結果をとりまとめ、地域の生産者の皆様へ情報共有を図ってまいります。



【ミニトマトの生育調査】

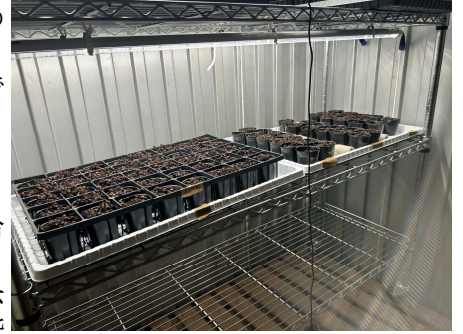
4 【管内】ラナンキュラスの大苗育苗の実施

3日、高千穂町の育苗センターにおいて、ラナンキュラスの大苗育苗を開始しました。

大苗育苗は、球根の冷蔵処理期間中に10℃・10時間日長下で育苗することで、開花期の前進化や定植後の生育安定が期待される、試験場花き部が開発した技術です。

当日は、球根の吸水・消毒を行った後、LED照明を設置したラックに培土と球根を入れたポットを並べ、10℃に設定した冷蔵庫内で育苗を開始しました。

今後は約30日間の冷蔵期間を経て生産者ほ場へ定植し、展示ほとして効果の検証を行っていきます。その状況を生産者の皆様にも確認してもらいながら、本技術の効果と普及に向けて引き続き調査を進めてまいります。



【ラナンキュラスの大苗育苗】

5 【五ヶ瀬町】ラナンキュラスほ場における細霧冷房の設置

25日、五ヶ瀬町のラナンキュラスほ場において、花き技術員等12名と園主の協力のもと、細霧冷房資材の設置作業を実施しました。

当日は、事前に穴開けしたチューブや細霧ノズル等の資材をハウス内に設置し、通水テストにより正常な噴霧を確認しました。暑さの厳しい中での作業となりましたが、園主は細霧冷蔵による暑熱効果を実感されていました。また、農業大学の3名のインターン生も参加し、夏秋期の高温対策の必要性や細霧冷房の仕組みを学びながら、設置作業を体験しました。

10月上旬の定植後から、温度や生育状況を調査し、細霧冷房による暑熱対策の効果を検証していきます。



【ラナンキュラスほ場での
細霧冷房設置作業】

6 【高千穂町・日之影町】きんかんの定期巡回を実施

1日、2日の2日間、高千穂町及び日之影町において、関係者6名と共に「きんかん」の定期巡回を実施しました。巡回では、摘果のポイント指導や作業進捗の確認に加え、病虫害発生に対する注意喚起を行いました。

また、前回に引き続き、高齢化に伴う事業承継に関する意向調査を実施しました。

生産者が自身の園地の将来について考える貴重な機会となったほか、関係機関としても今後の支援ニーズを正確に把握することができました。

引き続き、関係者と緊密に連携しながら、品質・収量の向上及び事業承継に向けた取組を総合的に支援してまいります。



【事業承継について聞き取り】

7 【管内】くりの早生品種における加工適性調査と食味アンケートの実施

2日、普及センターにおいて、果樹技術員等17名が参加し、くりの早生品種に係る加工適性調査および食味アンケートを実施しました。

当日は、実際に栗を蒸して実を取り出す作業を行い、砂糖との混ざり具合などを確認しました。その結果、皮からの取り外しやすさや加工後のまとまりの良さに加え、比較品種との甘さの違いなどを具体的に把握することができました。

今後は、今回確認できた各品種の特性を踏まえて推進方法を検討するとともに、継続的な生育特性調査を行っていく予定です。

引き続き、関係機関と連携しながら、現地の実情に即した技術支援と栽培品種の見直しに向けた取組を進めてまいります。



【くりの早生品種に係る加工特性調査】

8 【管内】先進地視察研修（台湾）の実施

8日から11日までの4日間、高千穂茶業振興会に所属する生産者9名及び関係者3名が参加し、台湾茶の先進地視察を行いました。

視察先は、台湾を代表する烏龍茶「文山包種茶（ぶんさんほうしゅちゃ）」の主要産地であり中山間地域でもある北部エリアを訪問し、台湾の茶商、試験研究機関、生産組合、茶農家など計4か所を巡り、現地では、最新の栽培・製茶技術、経営やブランド化に向けた取り組みについて深く学びました。

参加した生産者からは、台湾の高度な製造技術や、生産から販売までを一貫して見据えた組織づくりに対して非常に高い関心が寄せられるなど、本県の茶の品質向上および今後の茶業振興に向けて、大いに参考となる貴重な機会となりました。

今後は、本視察で得た知見や学びを地域全体に還元するため、生産者や関係機関と情報を共有し、西臼杵の茶業全体のさらなる発展とブランド力強化に向け取り組んでいきます。



【台湾新北市の茶園視察】

2 地域課題一覧に関する普及活動

1 【高千穂町・日之影町】新規就農および承継相談会を実施

新規就農相談及び親子承継に向けた相談対応を以下のとおり実施しました。今後も関係者と連携し、就農相談者の意向や状況に寄り添い対応してまいります。

- 9日：高千穂町1名 就農計画の作成や事業活用等に関する助言（2回目）
 - 11日：日之影町1名 中小企業診断士（※）による承継に向けた事前準備支援
 - 16日：県外在住者1名 日之影町での畜産研修希望者の相談対応
- ※就農サポート事業を活用

2 【管内】農業経営体育成活動に関するヒアリング

今年度から農業経営体育成活動として、管内9戸をモデル農家を選定し、各経営体の経営目標の実現に向けた経営分析及び指導・助言等の支援を実施しています。

先月に引き続き、各モデル農家と普及センター担当者が、現在の経営状況の分析や今後の目標設定について具体的に協議し、活動計画を作成いたしました。

今後は作成した活動計画に沿って、目標達成に向けた支援を行って参ります。



【モデル経営体ヒアリング】

3 【高千穂町】県北3地区合同農業経営指導士交流の開催

29日、高千穂町内において、県北3地区の農業経営指導士等による交流会が開催され、県北3地区の農業経営指導士14名、西臼杵管内の新規就農者4名、各普及センター職員など計33名が参加しました。

始めに室内研修を行い、視察受入先となった2名の農業経営指導士（釜炒り茶経営、蕎麦などの6次産業化等に取り組む農業法人）より、これまでの歩みや現在の経営状況について説明を受けました。

現地研修では、栽培ほ場や農産加工施設などを視察し、他地域から参加した農業経営指導士や管内の新規就農者から次々と質問が上がり、活発な意見交換が行われました。

参加者からは「地域や世代を超えて意見交換ができ、販売の工夫など大変良い刺激になった」と大変好評でした。

今回の交流が大変有意義なものとなったことから、当地域では、管内の農業経営指導士と新規就農者を対象とした交流会を12月に企画することとし準備を進めてまいります。



【交流会での現地視察】